

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針の決定及び パブリック・コメント等の実施結果について

高田馬場創業支援センター（以下、「創業支援センター」という。）の廃止及び跡施設活用の方針（案）に対するパブリック・コメント等の実施結果を踏まえた新宿区施設活用検討会の検討結果を受け、下記のとおり方針を決定する。

記

1 説明会及びパブリック・コメントの実施結果

(1) 説明会

①開催場所等

開催場所	日時、出席者	説明内容等
新宿消費生活センター 分館	令和 8 年 8 月 17 日（月） 18 時 30 分から 出席者 4 名	方針（案）について説明 及び質疑応答

②意見数 13 件（意見内容等については別紙 1 のとおり）

内訳	A 意見の趣旨を活用方針に反映する	0 件
	B 意見の趣旨は、活用方針（案）の方向性と同じ	0 件
	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	1 件
	D 今後の取組の参考とする	1 件
	E 意見として何う	3 件
	F 質問に回答する	8 件

(2) パブリック・コメント

①実施期間 令和 8 年 8 月 5 日（水）から 8 月 25 日（火）

②意見提出者数及び提出方法

意見提出者 43 名

内訳	・ ホームページ	42 名
	・ 持参	0 名
	・ ファックス	1 名
	・ 郵送	0 名

③意見数 47 件（意見内容等については別紙 2 のとおり）

内訳	A 意見の趣旨を活用方針に反映する	1 件
	B 意見の趣旨は、活用方針（案）の方向性と同じ	1 件
	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	5 件
	D 今後の取組の参考とする	8 件
	E 意見として何う	27 件
	F 質問に回答する	5 件

2 方針（案）からの変更点

説明会及びパブリック・コメントの実施結果を踏まえ、別紙3のとおり変更を行った。

3 施設活用検討会の検討結果

別紙4のとおり

4 創業支援センターの廃止の方針

(1) 廃止の方針

- ①創業支援センターで担ってきた支援機能を BIZ 新宿に一元化するとともに、民間の創業支援施設との連携強化により支援の充実を図る。
- ②現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって創業支援センターを廃止する。

(2) 廃止の理由

- ①創業支援センターと同様の機能を持つ民間の創業支援施設の増加や創業形態の多様化など、区内における創業環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきているため。
- ②創業支援センターと BIZ 新宿とで創業支援機能に重複が生じているため。

5 跡施設活用の方針

(1) 創業支援センター廃止後の跡施設活用

①方針

創業支援センター廃止後の跡施設は、現在第二分庁舎 3 階に所在する消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）の執務室等として活用する。

②活用理由

消費生活センター機能を集約することで、消費生活相談員による消費者講座の拡充実施が可能となるほか、消費生活センター分館を主な活動拠点としている消費者団体と更なる連携を強化し、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化などにつながるため。

(2) 消費生活就労支援課移転後の跡スペース（第二分庁舎 3 階）の活用

①方針

現在第二分庁舎の 1・2 階に所在する生活福祉課・保護担当課の区民対応・執務スペース等として活用する。

②活用理由

- 生活福祉課及び保護担当課では、来庁による相談件数が増加傾向にあるなど、現庁舎の中でも特にスペースがひっ迫しているため。
- 生活福祉課及び保護担当課では、第二分庁舎内におけるフロア間の円滑な連携を図ることができるため。

6 創業支援施策の推進について

創業支援センターの令和 10 年度末の廃止に向けて、同センターが担ってきた支援機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。

7 今後のスケジュール

令和8 年 10 月 7 日	総務区民委員会報告
10 月 13 日	文化観光産業等特別委員会報告
10 月 15 日	方針及びパブリック・コメント等の実施結果公表 (広報新宿及び区ホームページ掲載)
令和9 年 2 月	令和9 年第1 回区議会定例会に「新宿区立産業振興施設条例の一部を 改正する条例」を提案
令和11 年 4 月 1 日	改正条例の施行予定（創業支援センターの廃止）

通番	意見要旨	対応	区の考え方
1	創業支援センターの廃止は既に決定しているのか。	F 質問に回答する	現時点では方針（案）であり、今後、意見募集等で寄せられた意見を踏まえて方針を決定していきます。
2	現在、パブリック・コメントにはどのような意見が寄せられているのか。また、パブリック・コメントへの回答に当たっては、利用者の思いや支援の成果を踏まえ、丁寧な説明を行ってほしい。	F 質問に回答する	創業支援センターへの感謝や廃止を惜しむ声が多い一方、廃止は理解できるといったご意見も寄せられています。いただいたご意見に対しては、区の考え方を丁寧にお示ししてまいります。
3	「創業支援機能の重複」とは具体的に何を指すのか。	F 質問に回答する	創業支援センターとBIZ新宿の双方で実施している創業相談や創業セミナー、創業スクール、利用者交流会などの創業支援サービスのことを指しています。一方、コワーキングスペースや会議室などのオフィス機能は創業支援センターのみの機能となっています。
4	BIZ新宿への機能の集約によって、どのようなサービスが残り、何が変わるのか。	F 質問に回答する	BIZ新宿への機能集約後も、創業相談、創業セミナー、交流事業などの創業支援サービスは継続するとともに、融資相談についても同一施設で受けていただくことが可能となります。一方、コワーキングスペースや会議室などのオフィス機能については、民間のインキュベーション施設を活用いただくことを想定しています。
5	民間施設で同等のサービスが提供されるとのことだが、利用料金等は把握しているのか。	F 質問に回答する	区内の創業支援施設等について現地確認を行っており、利用料金体系やサービス内容を把握しています。
6	民間施設への移行を想定するのであれば、代替施設の具体的な情報や料金体系を分かりやすく示してほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご利用可能な民間の施設やサービス内容については、今後、区ホームページ等で情報提供を行っていきます。
7	利用者から見るとサービスが縮小するように感じるが、改善・拡充される点はあるのか。	F 質問に回答する	BIZ新宿では、毎月専門家による様々なセミナーを開催しており、創業支援センターとの一元化後は必要な情報をより入手しやすくなると考えています。また、創業後もBIZ新宿において経営相談や融資相談、専門家派遣等により、安定した経営につなげるための継続的な伴走支援を受けていただくことが可能となります。
8	創業支援センターは立地が良く低廉な利用料でオフィスや会議室を利用できる。会議室は創業初期事業者の商談や打ち合わせの場として利用需要が高く、民間施設の利用料は負担が大きいため、何らかの形で機能を残してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。創業支援センター開設後、民間のインキュベーション施設が増加し、創業支援センターと同程度の低廉な料金でオフィスや会議室を利用できる施設もあることから、区がオフィス機能を提供することは考えていませんが、ご利用可能な民間の施設やサービス内容については、今後、区ホームページ等で情報提供を行っていきます。
9	コワーキングスペースは単なる作業場所ではなく、創業者同士の交流やコミュニティ形成の場として重要な役割を果たしている。創業者は孤独や不安を抱えていることが多く、利用者同士のつながりや、職員・施設スタッフによる日常的な声掛けが創業継続の大きな支えになっている。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。創業を志す方々の情報交換や交流が重要であるということは、区としても認識しています。現在、民間の施設においても多くの施設で交流事業が実施されています。こうした機能については、区としても今後さらに充実を図っていきたいと考えています。
10	BIZ新宿は区の西側に位置し、地域によっては交通の便が決して良いとは言えないところもある。利用者側の目線で検討する余地があるのではないのか。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。融資相談など、書類の確認が必要なサービスはBIZ新宿まで来所いただいておりますが、利用者の利便性向上を図る観点から、可能な限りオンラインでの対応も推進していきます。今後も利用者にとって利用しやすいサービス提供を進めていきたいと考えています。
11	創業支援センターは、情報提供だけでなく、創業者の背中を押すような、良い意味で「おせっかい」とも言える声掛けや支援が特徴であり、そのような機能を今後も維持してほしい。	D 今後の取組の参考とする	現在、BIZ新宿においても、中小企業診断士が創業相談に加えて、経営相談や融資面談などを行っています。今後も、創業相談から創業後の経営相談まで、事業のステージごとのお悩みに応じて丁寧な伴走支援を行っていきます。

通番	意見要旨	対応		区の考え方
12	BIZ新宿へ集約された場合、利用できる時間帯は基本的に平日日中になるのか。	F	質問に回答する	融資相談など一部の支援サービスは平日日中になりますが、現在、セミナーはオンラインの活用や夜間開催も行っており、イベントによって実施方法や時間帯を工夫しています。 今後も、利用者の利便性を考慮しながら、可能な限り柔軟なサービス提供体制を確保していきます。
13	創業支援センター廃止後も、現在施設で行われている消費生活センター機能は継続されるのか。	F	質問に回答する	分館の施設内で実施している消費者講座や利用者活動等の機能については今後も継続するとともに、消費生活就労支援課の移転に伴い、消費生活相談についても新たな施設で実施します。

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針（案） パブリック・コメントでの意見要旨及び区の考え方

通番	意見要旨	対応	区の考え方
1	創業準備期から創業後まで交流会や利用者同士のつながりを通して多くの学びや支援を得られ、新宿区の創業支援センターに安心感と親しみを感じていたため、廃止方針を残念に思う。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。
2	高田馬場創業支援センターとBIZ新宿では、創業相談やセミナー等の機能に一部重複がある一方、シェアオフィスや登記利用などの拠点機能は異なるため、拠点機能まで廃止することの妥当性について十分な説明を求める。	A 意見の趣旨を活用方針に反映する	ご意見の趣旨を活用方針に反映します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開業後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適切に対応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことであると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 本方針（案）では、「施設機能」の方向性についての説明が十分ではなかったことから、ご意見を踏まえ活用方針に反映します。
3	高田馬場創業支援センターは創業者の区内定着に寄与してきた仕組みであり、施設廃止による影響を検証するため、センター利用者のうち新宿区内で開業した件数・割合、利用終了後も区内で事業を継続している事業者数、一元化後も区内創業者数が維持・向上すると判断した根拠の公表を求める。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業生全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。 また、区内の民間インキュベーション施設は増加しており、区としては民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていくことで創業環境の充実が図られ、創業の促進につながるものと考えています。 今後も、創業者の育成プログラムやセミナー、相談支援、コミュニティ形成等を推進し、区内における創業の促進と定着を図っていきます。
4	卒業生との継続的なつながりは、利用者同士や地域事業者との連携、新たな事業機会の創出につながる創業コミュニティとして機能しているため、施設廃止の判断にあたり、こうした無形の効果も評価の対象とすべきである。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業を準備している方が、同じ志を持つ方や、既に事業活動を営んでいる方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、協業など新たな事業を生み出す機会として重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業希望者に加え、既に創業を経験した方なども交えたコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
5	創業支援施策の充実には賛同するが、高田馬場創業支援センター卒業生を含めた利用実態・区内定着状況の調査・公表、一元化後も区内創業者数や事業継続率が維持・向上すると判断した根拠の公表を行ってほしい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業生全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。 また、区内の民間インキュベーション施設は増加しており、区としては民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていくことで創業環境の充実に図られ、創業の促進につながるものと考えています。
6	相談機能はBIZ新宿へ集約しつつ、拠点機能については規模を見直した上で高田馬場に残すなど、全面廃止以外の選択肢も含めて慎重に再検討することを求める。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
7	創業支援センターの廃止自体には賛成するが、跡施設活用については行政機能の分散化につながり、区民にとってわかりにくく、不便になるため反対である。また、跡施設は地域団体が運営する子ども・若者支援や地域福祉活動のための複合施設として活用してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を移転することで、区役所の現庁舎からは離れてしましますが、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費生活相談員による相談対応をはじめ、消費生活講座による啓発の強化など、様々な機能を一体的に提供することができそうです。また、消費者団体との連携強化のほか、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化につなげることもできます。このような機能強化の内容や移転場所については様々な媒体を通じて区民の皆様に広く周知していきます。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につなげることもできます。 こうした状況を総合的に検討し、高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設には消費生活就労支援課を移転することとしています。

通番	意見要旨	対応	区の方考
8	創業支援センターは多くの企業を育成し区内定着に貢献してきた有意義な仕組みであるため、廃止ではなくバーチャルオフィスなど新たな形での存続を検討してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
9	センターの廃止は残念だが機能が残ることに安心した。創業期にセンターからの支援を受け、12年も事業が継続し、社員を5名雇用できていることに感謝を伝えたい。	B 意見の趣旨は、活用方針（案）の方向性と同じ	ご意見の趣旨は、活用方針（案）と同じです。 今後、高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能はBIZ新宿で発展的に継承し、事業の成長や地域における雇用の創出につながるよう、創業支援施策を推進していきます。
10	低廉な利用料や専門家・職員による手厚い支援が創業時の事業継続と信用確保に大きく役立ったため、同様の支援を今後も維持するとともに、廃止について改めて検討してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
11	創業支援センターの廃止は時代の流れとしてやむを得ない面もある。高田馬場という立地は学生等の若者の新たな活動拠点として活用できる可能性があると考えるが、跡施設として高田馬場という場所に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を設置する理由を知りたい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を移転することで、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費者団体との連携強化や、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化につながることであります。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につながることもできます。 こうした状況を総合的に検討し、高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設には消費生活就労支援課を移転することとしています。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
12	創業時に受けたセンター職員の支援や利用者同士の交流が事業成長につながり、卒業後も交流会や相談等を通じて人脈形成や新たなビジネス機会の創出に結び付いていることから、創業支援センターの存在意義は大きいと考える。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業にあたり、専門家からサポートやアドバイスを受けることは、事業の実現性を高め、創業後の安定した事業運営につなげるために必要なことです。また、創業期にある方が、同じ志を持つ方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業者への相談支援体制を充実させるとともに、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。
13	民間の創業支援施設は利用料金が高額で、相談やサポートのサービスを受ける場合、税務、人事、法務など各種専門サービスとの契約が前提となる場合が多いため、必要な支援だけを柔軟に利用できる区の創業支援サービスには大きな価値があり、その特徴を失うのは惜しいと考える。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターの支援機能をBIZ新宿に一元化し、創業支援施策を再構築するにあたっては、創業期に必要な税務、人事、法務等の各種専門的な情報についても、セミナー等を通して提供していくことを検討していきます。 また、BIZ新宿では専門分野のアドバイザーによる経営相談を実施しており、支援機能を一元化することで、創業後もこうした支援へ円滑につなげることが可能となります。これにより、創業準備段階から創業後まで、切れ目のない一貫した支援を提供してまいります。 シェアオフィス等の施設機能について、区内には、多様化する創業支援ニーズにも対応する機能を備えた民間インキュベーション施設が増加しており、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあります。今後は、区が施設を運営するのではなく、民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていきます。
14	BIZ新宿と創業支援センターは立地や雰囲気、役割が異なっており、融資・申請支援に適したBIZ新宿と、気軽に利用しやすい高田馬場創業支援センターが併存することで、より幅広い創業者支援につながると考える。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 BIZ新宿では、経営相談や制度融資のほか、経営サポートセミナーなど、創業後の事業活動を後押しするさまざまな経営支援施策を実施しています。 高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿に一元化することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援を行うことが可能となります。このため、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。
15	創業支援センター廃止後の跡施設を消費生活就労支援課の執務室等として活用する案には反対である。好立地の区有施設は創業支援など将来的な地域発展や税収増加につながる用途に活用すべきであり、それらの予算を減らし、生活福祉課等の予算を上げることは反対である。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設に消費生活就労支援課(新宿消費生活センター)を移転することで、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費者団体との連携強化や、消費者トラブルの未然防止及びエンカ消費の推進等に関する取組の強化につなげることができそうです。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につなげられると考えており、本方針(案)は生活福祉課等の予算を上げる趣旨のものではありません。
16	創業支援センターの廃止方針に驚いているが、センターの支援によって事業活動を続けられていることに感謝しており、今後も区にとって良い形でセンター施策が発展することを期待している。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実・強化を図ってまいります。
17	利用者の入れ替わりが多く多様な人材と交流できる点や、税理士・司法書士など専門家と知り合いになれたり、権利関係の専門家に気軽に相談できる点は区立施設ならではの強みであり、廃止は残念である。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業期にある方が、同じ志を持つ方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で大切です。また、創業にあたり、専門家からサポートやアドバイスを受けることは、事業の実現性を高め、創業後の安定した事業運営につなげる上で重要であると認識しています。 高田馬場創業支援センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、BIZ新宿が有する既存の経営相談等の資源を活用し、創業者への相談支援体制を充実させるとともに、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援するなど、創業者等の事業活動を支えていきます。

通 番	意見要旨		対応	区の考え方
18	創業時に低廉な費用で事業拠点や登記住所を確保できたことに加え、経営相談や入居者同士の交流が事業継続の大きな支えとなった。創業期の固定費負担軽減に資する機能は、今後も何らかの形で維持してほしい。	D	今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
19	高田馬場創業支援センターは交通アクセスや周辺環境に優れており、BIZ新宿への統合によって利用者減少が懸念される。個室や防音収録室を増設するなど、廃止ではなく創業支援拠点として強化すべきである。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。BIZ新宿においては、オンラインによる経営相談やセミナー開催などの取組も進めており、同センターで担ってきた支援機能の継承にあたっては、対面でのサービスに加え、オンラインでも可能なサービスの充実を図るなど、事業者の利便性も考慮した体制の構築を進めてまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、個室や防音収録室等を備えた施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
20	創業当初に大変世話になった施設であり、起業家にとって重要な支援環境であることから、廃止ではなく同様または類似の機能を持つ施設として継続してほしい。	E	意見として伺う
21	低廉な利用料金でのオフィス利用や相談対応、利用者同士の交流など創業支援センターの支援は事業立ち上げに大きく寄与した。創業者に寄り添った実践的な支援やコミュニティ形成の場として重要であり、存続を望む。	E	意見として伺う

通 番	意見要旨		対応	区の考え方
22	創業支援センターは実務面だけでなく精神面でも起業家を支える伴走型支援を提供しており、職員による見守りや声掛けは創業期の孤独を支える大きな役割を果たしているため、廃止方針には反対である。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
23	创业者同士の交流やコミュニティ形成は、職員による支援と並ぶ重要な機能であり、民間施設や相談窓口では代替が難しい。起業家の孤立防止や地域経済の活性化につながる無形の価値を評価し、機能の維持・存続を求める。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
24	低廉な利用料による拠点・登記場所の提供に加え、継続的な相談支援が創業期の事業運営に大きく役立った。創業支援は区内事業者の定着や雇用創出につながる投資として評価し、利用者の区内定着状況を検証・公表してほしい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業者全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。
25	公的機関が運営する創業支援センターは費用面や信頼性の面で意義が大きく、BIZ新宿との機能重複はほとんどないと考えてるので残してほしい、また、BIZ新宿についてもアクセスの良い立地に移転してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターとBIZ新宿では、相談やセミナー等の支援機能に重複が生じていることから、創業支援の充実・強化を図る観点からも、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 新宿区内の民間インキュベーション施設の中には、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備え、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにすると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 なお、BIZ新宿をよりアクセスしやすい立地へ移転する予定はありませんが、対面での支援サービスに加えて、経営相談やセミナーのオンライン開催を引き続き実施するなど、BIZ新宿に来館することなく支援事業を利用できる体制の両方を整えながら、区内で創業を目指す方を支援していきます。
26	高田馬場創業支援センターは、行政が運営していることで信頼して利用することができ、また、創業初期の段階でつながりを持つのは難しい方からも、セミナー講師として教わることができた。高田馬場創業支援センターで得たコネクションや繋がりがあったからこそ、創業から10年近く事業を継続することができたと考えている。何らかの形でオリジナルメンバーの方々を中心とした仕組みと、施設スペースの後続活用を希望する。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターにおけるセミナーやネットワーク等の支援機能については、創業後の事業継続にも一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにすると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
27	創業する人にとってもっとも必要なのは志をともにする仲間である。創業支援センターは唯一無二の存在で、ほかの区にはない貴重なものであるため、効率化のために廃止するのは反対である。創業する多くの人をみすみす逃すことは間違いない。今すぐにでも撤回すべき。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、平成23年の開設以降、令和7年度末までに166名の創業者を創出し、区内産業の活性化に一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
28	創業期に低廉な費用で事業拠点を確保できたことに加え、職員による手厚い支援を受けられ、日常的な声掛けや金融機関の担当者や行政書士を紹介いただけたことも大きな支えとなった。創業支援センターは、新宿区がスタートアップやベンチャー企業の集積地となるために価値ある施策であり、何らかの形で継続してほしい。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、スモールビジネス、スタートアップ、それぞれの事業特性に応じた創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
29	高田馬場創業支援センターの創業融資に関する助言や金融機関の紹介、各種相談対応により、学生時代から円滑に創業することができた。創業した企業は現在大きく成長し、本店を新宿区に置き続けていることから、センターは創業者の育成や区内定着に大きく寄与していると考えている。 早稲田大学に近い立地を生かした産学連携やスタートアップを生み出す役割を担っており、廃止をするという方針であれば別の形でイノベーションを促進するような施設に作り替えるのはどうか。とても良い立地のため、未来を形作る活用方法を探るべきである。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、回答のあった75名のうち45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しており、区内産業の活性化に一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化、BIZ新宿と支援機能に重複が生じている状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築することが必要と考えています。 再構築にあたっては、オープンイノベーションや協業を促進し、区内事業者の成長につなげていくとともに、区内大学と連携したスタートアップ支援にも取り組み、区内産業の将来を見据えた施策を検討していきます。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
30	高田馬場創業支援センターの廃止・機能一元化については、時代の変化に合わせた施設のあり方の見直しであり、多様化する働き方やオンライン支援の普及、西新宿（BIZ新宿）などへの機能集約・効率化といった背景を踏まえ、非常に合理的であり、賛同する。 一方で、本施設の最大の価値は設備だけでなく、専門スタッフによる迅速かつ親身な相談対応や、創業者同士のつながりを支える人的支援にあったと考える。これまで培われたスタッフの経験、専門性、人的ネットワークをBIZ新宿等へ確実に継承し、行政の信頼性を生かした温かく実効性の高い創業支援を今後も継続してほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化、オンライン環境の整備のほか、BIZ新宿と支援機能に重複が生じている状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築することが必要であると認識しています。 高田馬場創業支援センターが担ってきた相談対応等の支援機能のほか、これまで培ってきた専門的な知見やネットワークについても、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実・強化に向けて検討を進めていきます。
31	創業初期に安価な利用料や夜遅くまで利用できる環境、高田馬場という立地に助けられたため継続を望む。西新宿への移行は、アクセス面と使い勝手の利便性が気になる。 一方で、現行の施設はスモールビジネスを主体にした方がターゲットで、革新的なビジネスを志向する方には不向きで、サポートの仕組みや考えも薄いように感じる。スタートアップのサポート施設かと思うので、革新的ビジネスを育てる仕組みが今後あると嬉しい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。また、同センターは、スモールビジネスを目指す方の利用が多く、スタートアップを志す方に対する支援体制も課題となっています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、スモールビジネス、スタートアップ、それぞれの事業特性に応じた創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 BIZ新宿においては、オンラインによる経営相談やセミナー開催などの取組も進めており、同センターで担ってきた支援機能の継承にあたっては、対面でのサービスに加え、オンラインでも可能なサービスの充実を図るなど、事業者の利便性も考慮した体制の構築を進めてまいります。
32	創業支援センターの廃止は残念だが、民間施設の増加やBIZ新宿との機能重複を踏まえると、限られた行政資源を有効活用するための見直しの考え方は理解できる。施設の廃止によって利用者が「相談場所がなくなった」、「支援を受けにくくなった」と感じることはないよう、廃止後も相談機能や交流機能を確実に引き継ぎ、より利用しやすい実効性のある創業支援へ発展させてほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
33	高田馬場創業支援センターは、落ち着いた環境の中で安心して起業準備に取り組める場であり、必要なときに相談できるスタッフの存在や利用者同士が支え合う雰囲気が大きな支えとなった。施設の利便性や立地の良さに加え、静かに自分のペースで創業準備を進めたい人にとっても貴重な環境であり、実際に起業への第一歩を踏み出すきっかけとなったことから、今後も創業を目指す人を支える場として存続を希望する。(同一意見外2件)	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、相談対応や利用者同士の交流等を通じた創業準備を行う施設として、一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化や、BIZ新宿と支援機能が重複している状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたっては、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策を効果的・効率的に推進するとともに、区内の民間インキュベーション施設との連携強化により支援の充実を図り、引き続き創業を目指す方を支えてまいります。
34	高田馬場創業支援センターは、駅から近く低廉な利用料による事業スペースや会議室の提供に加え、融資相談、金融機関との調整、補助金申請支援、定期的な事業相談など、創業者に寄り添ったきめ細かな伴走支援を行う重要な施設である。創業初期に必要な情報や助言を適切なタイミングで得られることは、事業者の不安や孤立感の軽減にもつながっており、単なるオフィス機能では代替できない価値がある。BIZ新宿への機能移転後もこうした支援や利用環境が同水準で維持されることに懸念があるため、創業者の成長を支える拠点として存続を希望する。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。なお、現在、BIZ新宿では、対面での支援サービスに加えて、経営相談やセミナーのオンライン開催も実施しており、今後もBIZ新宿に来館することなく支援事業を利用できる体制の両方を整え、区内で創業を目指す方を支援してまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
35	BIZ新宿と高田馬場創業支援センターでは、創業予定者や区民からの知名度、情報発信力、支援の手厚さの面で差があるように見受けられる。区の方針の方向性には賛同するものの、廃止・再活用の対象が、知名度や情報量、サポートの手厚さ等で劣るBIZ新宿ではないのか、その理由が資料から読み取れない。また、消費者行政機能の強化を目的とするのであれば、BIZ新宿を活用する方法についても検討の余地があると思う。(同一意見外1件)	F	質問に回答する	ご質問に回答します。 BIZ新宿は、経営相談、融資面談、経営サポートセミナー等の支援施策を実施するほか、会議室等の貸出しを行うなど、事業者や創業希望者を対象に、多様な支援を提供する施設であり、高田馬場創業支援センターと同様に区における創業支援の拠点として機能しています。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、様々な経営支援事業を行っているBIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援を行っていくことが可能となるため、高田馬場創業支援センターを廃止し、BIZ新宿に支援機能を一元化することで、創業支援施策の充実を図っていくこととしました。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
36	高田馬場創業支援センターは、創業初期のオフィス確保に関する負担軽減に加え、経験豊富なスタッフへの相談や創業者同士の情報交換を通じて、法務・税務・財務など創業期の課題解決を支える有益な拠点であった。センターの支援により円滑な事業立ち上げと継続が実現できたことから、施設の廃止は残念だが、今後も区内で起業や事業運営を行う人に対する新たな支援施策の充実を望む。	C	意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 一方、BIZ新宿は、経営相談、融資面談、経営サポートセミナーなど、多様な経営支援施策を実施しています。 今後は、同センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援体制を構築し、区内で創業を目指す方や区内で創業した方等に対して、事業の立ち上げや成長を後押しできるよう、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネスのほか、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップの創出を図っていくため、事業特性に応じた新たな創業支援施策の実施に向けて検討を進めていきます。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
37	創業初期に高田馬場創業支援センターを利用し、経験豊富な職員へ継続的に相談できたことが事業立ち上げ時の大きな支えとなった。ビズコンフォート新宿を利用できることにする計画のようだが、単なるシェアオフィスの提供だけでは創業者や企業の成長を支えることは難しく、創業者に寄り添う人的支援や伴走支援こそが重要である。高田馬場創業センターをビズコンフォートに変更するのではなく、高田馬場創業センターをさらに拡充する方針を出すべきだと考える。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 本方針（案）では、高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能を発展的に継承していく施設として、民間のシェアオフィスではなく、経営相談、資金繰り支援、セミナー等の支援機能を有する新宿区立産業会館（BIZ新宿）をお示ししています。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援体制を構築し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
38	高田馬場創業支援センターは、低廉な利用料による事業拠点の提供だけでなく、融資や補助金に関する助言、事業課題への継続的な伴走支援、起業家同士の交流機会などを通じて創業者の成長を支える重要な拠点である。創業実績や区内定着、雇用・納税などへの効果は運営コストだけでは測れない価値であり、廃止ありきではなく十分な検証の上で再検討してほしい。 また、BIZ新宿へ機能移転する場合でも、拠点、登記、伴走支援、起業家コミュニティなど、同センターが有する創業支援機能を可能な限り継承することを求める。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、高田馬場創業支援センターは、創業者の区内定着、雇用創出、納税を含めた地域経済への貢献等の点で、一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
39	高田馬場創業支援センターは、創業時に設備の整った環境で経験豊富なスタッフによる実務面・精神面の支援を受けながら円滑に会社設立を進められるなど、事業立ち上げに大きく寄与した。交通利便性の高い立地や周辺環境の充実、利用者同士やスタッフとの密な情報交換ができる適度な規模感も大きな魅力である。BIZ新宿への機能集約により、こうした利点が失われることを懸念しており、施設の廃止を残念に思う。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
40	高田馬場創業支援センターは、創業時に補助金や融資、地域特性に関する情報提供、申請支援などの実践的なサポートを受けられる貴重な拠点であり、事業の円滑な立ち上げに大きく寄与した。センター長や職員による継続的な支援や地域とのつながりづくりは、創業者にとって大きな支えとなっている。施設としての役割は形を変えるが、学生や外国人が多い街として創業が身近にあるという強みは引き続き活かしていただきたい。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターは、地域の特性を活かしつつ、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しています。高田馬場や近隣地域にもインキュベーション施設があることから、地域性を活かした取組も実施するなど、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
41	高田馬場創業支援センターは、創業期における事業計画や資金調達、経営課題等に関する専門的な助言に加え、創業者同士の交流や継続的な相談支援を受けられる貴重な拠点であり、事業基盤の構築や長期的な事業継続に大きく寄与している。交通の利便性も高く、創業者を支える環境として重要な役割を果たしている。また、創業支援の成果は雇用や納税、地域経済への波及効果など中長期的な視点で評価すべきである。こうしたことから、廃止ありきではなく、運営方法の見直しや複合利用も含めて機能の継続を再検討してほしい。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。また、区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、雇用創出や納税を含めた地域経済への貢献等も果たしてきたと把握しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
42	高田馬場創業支援センターは、創業初期の事務所経費の負担軽減に加え、同じ立場の創業者との交流や情報交換ができる貴重な拠点であり、施設の廃止は、今後新宿区で創業を目指す事業者にとって大きな損失となるため、廃止が確定していないのであれば、創業支援機能を維持した形で継続運営を希望する。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
43	高田馬場創業支援センターは、創業期の事業立ち上げを支えてくれた重要な拠点であり、今日があるのも専門スタッフによる的確な助言や継続的な支援のおかげである。高田馬場駅前という利便性の高い立地は、新宿区での創業を身近なものとし、創業への後押しとなってきた。BIZ新宿への機能の統合により新宿区での創業そのものが完全に行政支配下に置かれてしまうことを懸念しており、今後創業を目指す人のためにも高田馬場創業支援センターの継続を希望する。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、指定管理者の創意工夫による運営のもと、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
44	高田馬場創業支援センターには、大変お世話になり、廃止されてしまうのは、本当に困る。存続の再検討をお願いしたい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通 番	意見要旨		対応	区の考え方
45	高田馬場創業支援センターは、創業期の企業に対して低廉な事業拠点を提供するとともに、経営や資金調達に関する相談支援、入居企業同士の交流機会の創出など、多面的な創業支援を行う重要な施設である。固定費の抑制や実務的な助言、起業家コミュニティの形成は創業初期の事業者にとって大きな価値があり、機能集約の趣旨は理解するものの、施設の廃止・統合に当たっては、これらの支援の質や利用しやすさが維持・向上されるよう十分に検討してほしい。		意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
46	高田馬場創業支援センターからは、定款作成、登記、都市銀行の口座設定、決算、税務申告、補助金申請等、様々なサポートを受けた。金融機関への融資手続にあたっては、交渉と金利優遇面での側面支援はありがたい。 8月17日の説明会では、区内の民間インキュベーション施設において、会議室利用料金は、月数時間までは無料にしている施設もあるとの説明だったが、その拠点の基本料金/月や、同様民間サービスの複数拠点における平均的な利用条件との比較が必要と思われる。また、パブリック・コメントにおいては、存続と廃止の意見の割合も重要と考える。 施設の価値は低廉な利用料金だけでなく、長年蓄積された創業支援のノウハウや、職員との継続的な対面コミュニケーションによる伴走支援等のソフト面にある。ハード面の縮小は仕方ないとしても、ソフト面のリセットに繋がる廃止はせず、リアルな相互コミュニケーションを介して起業家達がソフト面の利便性を享受し続けられるよう願う。		意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 民間インキュベーション施設との連携にあたっては、各施設の設備や支援内容、利用料金等は様々であることから、創業者に対して、ホームページ等により丁寧に情報発信を進めてまいります。また、BIZ新宿においても、会議室の貸出しを行っていることから、併せて周知してまいります。

通 番	意見要旨	対応	区の考え方
47	高田馬場創業支援センターは、創業者が安心して事業に取り組める環境に加え、利用者同士の情報交換や交流を通じて創業者コミュニティを形成する重要な役割を果たしている。特に高田馬場駅近くという交通利便性や、生活・事業に必要な機能がコンパクトに集積した地域環境、低廉な利用料金は、創業前後の小規模事業者にとって大きな支援となっている。また、現在の施設規模は利用者同士が自然に交流しやすく、創業者が互いに学び合いながら成長できる環境を生み出している。 施設の老朽化は理解するものの、大規模施設への一元化が必ずしも創業支援の質の向上につながるとは限らないため、高田馬場の立地特性やコミュニティ機能、創業者にとっての使いやすさを踏まえ、廃止及びBIZ新宿への機能集約については存続も含めて再検討してほしい。(同一意見外1件)	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針(案)からの変更点

変更理由	方針(変更後)	方針(案)
パブリック・コメント 通番 2 「高田馬場創業支援センターと BIZ 新宿では、創業相談やセミナー等の機能に一部重複がある一方、シェアオフィスや登記利用などの拠点機能は異なる」との意見を踏まえ修正	高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針 ●高田馬場創業支援センターの廃止 —略— 以上の経緯を踏まえ、区は、創業形態に応じた多様な創業支援施策を効果的・効率的に推進するため、創業支援センターで担ってきた<u>支援機能を BIZ 新宿に一元化するとともに、民間の創業支援施設との連携強化により支援の充実を図ることとし、創業支援センターについては、現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって廃止することとする。</u> ●跡施設活用の方針 —略— 創業支援施策の推進について 創業支援センターの廃止(令和 10 年度末)と合わせ、同センターが担ってきた<u>支援機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。</u>	高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針 ●高田馬場創業支援センターの廃止 —略— 以上の経緯を踏まえ、区は、創業形態に応じた多様な創業支援施策を効果的・効率的に推進するため、創業支援センターで担ってきた<u>施策や機能を BIZ 新宿に一元化し、創業支援センターについては、現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって廃止することとする。</u> ●跡施設活用の方針 —略— 創業支援施策の推進について 創業支援センターの廃止(令和 10 年度末)と合わせ、同センターが担ってきた機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。

令和8年度施設活用検討会報告書

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針

令和8年9月

新宿区施設活用検討会

「新宿区施設活用検討会」（以下、「施設活用検討会」という。）における検討状況について報告する。

1 施設活用検討会の設置及び目的

施設活用検討会は、区が保有する施設等の適正な管理、有効な活用に関する調査・検討を行うため設置された。

2 検討対象等

（１）検討対象

高田馬場創業支援センター

（２）施設の概要

ア 所在地	新宿区高田馬場一丁目３２番１０号
イ 建物構造	鉄筋コンクリート造 地上３階 地下１階
ウ 敷地面積	２６９．２９㎡（新宿消費生活センター分館を含む）
エ 延床面積	３１５．５９㎡（新宿消費生活センター分館を含む）
オ その他	新宿消費生活センター分館との複合施設

（３）施設マネジメント方針等

新宿区公共施設等総合管理計画では、以下の基本方針が示されている。

●基本方針

新宿 NPO 協働推進センター、しんじゅく多文化共生プラザ、高田馬場創業支援センター、消費生活センター分館、男女共同参画推進センター、環境学習情報センター、リサイクル活動センターについては、施設の必要性を検討し、区有施設を保有せずサービスを提供する方向の可能性について検討を行う。

（４）検討の経緯

平成 23 年に高田馬場創業支援センター（以下、「創業支援センター」という）が開設して以降、区内には、同センターと同様の機能を有する民間の創業支援施設が多数開設されている。また、多様な創業形態への対応等も必要となっている。

こうした状況の中、令和 7 年 8 月に提出された「新宿区産業振興会議第 7 期報告書」で施設のあり方検討の必要性が指摘され、これを受け、文化観光産業部として、創業支援センターのあり方を含め創業支援を推進していくための検討を進め、創業支援施策の将来イメージの案を整理した。

この整理を踏まえ、令和 7 年 12 月 24 日に開催された新宿区産業振興会議（以下、「産業振興会議」という）において、創業支援施設を保有せずに、民間施設との連携も図りながら、BIZ 新宿を拠点として創業支援センターで担ってきた施策や機能を発展的に継承し、多様な創業支援施策を展開していくことの必要性について合意

形成された。

また、同センターにおいては最長 2 年間の利用が可能であり、現在の指定管理者の指定期間が終了する令和 10 年度末の廃止を見据えると、利用者が利用期間短縮等の不利益を受けることがないように、産業振興会議の合意内容を踏まえ、区として早急に施設の方向性を整理する必要があるため、施設廃止に向けた検討を開始するとともに、廃止後の跡施設活用についても検討を行うこととなった。

これを受け、創業支援センターの廃止及び跡施設の活用について具体的な検討を行う「高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会」が設置された。

3 検討体制

資料 1 のとおり

4 分科会検討結果の概要

高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会から、資料 2 のとおり検討結果について報告があった。

5 施設活用検討会審議結果

施設活用検討会では分科会の検討結果について審議した結果、その検討結果を施設活用検討会としての高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針として、今後、政策経営会議に付議する。

高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会

分科会名		施設名	検討事項	構成員 (○印は、分科会長)
1	高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会	高田馬場創業支援センター	高田馬場創業支援センターの廃止について	○本庁舎対策等担当課長 総務課長 施設課長 戸塚特別出張所長 産業振興課長 消費生活就労支援課長
			跡施設活用（庁舎利用、文化観光産業部消費生活就労支援課）について	

高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会 報告書

令和8年9月

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針の検討結果について(報告)

高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会において、高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針を検討したため、施設活用検討会に報告する。

1 施設の概要等

(1) 施設の概用

- ア 所在地 新宿区高田馬場一丁目32番10号
- イ 建物構造 鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階
- ウ 敷地面積 269.29㎡(新宿消費生活センター分館を含む)
- エ 延床面積 315.59㎡(新宿消費生活センター分館を含む)
- オ その他 新宿消費生活センター分館との複合施設

(2) 施設マネジメント方針等

公共施設等総合管理計画では、以下の基本方針が示されている。

新宿NPO協働推進センター、しんじゅく多文化共生プラザ、高田馬場創業支援センター、消費生活センター分館、男女共同参画推進センター、環境学習情報センター、リサイクル活動センターについては、施設の必要性を検討し、区有施設を保有せずサービスを提供する方向の可能性について検討を行う。

2 検討経緯

平成23年に高田馬場創業支援センター(以下、「創業支援センター」という)が開設して以降、区内には、同センターと同様の機能を有する民間の創業支援施設が多数開設されている。また、多様な創業形態への対応等も必要となっている。

こうした状況の中、令和7年8月に提出された「新宿区産業振興会議第7期報告書」で施設のあり方検討の必要性が指摘され、これを受け、文化観光産業部として、創業支援センターのあり方を含め創業支援を推進していくための検討を進め、創業支援施策の将来イメージの案を整理した。

この整理を踏まえ、令和7年12月24日に開催された新宿区産業振興会議(以下、「産業振興会議」という)において、創業支援施設を保有せずに、民間施設との連携も図りながら、BIZ新宿を拠点として創業支援センターで担ってきた施策や機能を発展的に継承し、多様な創業支援施策を展開していくことの必要性について合意形成された。

また、利用者は同センターのシェアオフィス等を利用承認日から最長2年間利用することが可能であり、現在の指定管理者の指定期間が終了する令和10年度末の廃止を見据えると、利用者が利用期間短縮等の不利益を受けることがないよう、産業振興会議の合意内容を踏まえ、区として早急に施設の方向性を整理する必要があるため、施設廃止に向けた検討を開始するとともに、廃止後の跡施設活用についても検討を行うこととなった。

これを受け、創業支援センターの廃止及び跡施設の活用について具体的な検討を行う「高田馬場創業支援センター廃止等検討分科会」が設置された。

4 説明会及びパブリック・コメントの実施結果

説明会及びパブリック・コメントの実施結果については、資料1「高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針(案)説明会質疑応答」、資料2「高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針(案)パブリック・コメントでの意見要旨及び区の考え方」のとおり

5 説明会及びパブリック・コメントの実施結果を踏まえた検討結果

説明会及びパブリック・コメントの実施結果を踏まえ、資料3のとおり方針の一部を修正した内容で、高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針をまとめる。

6 高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針

(1) 高田馬場創業支援センターの廃止

平成 23 年度の創業支援センター開設後、同様の機能を持つ民間の創業支援施設の増加や創業形態の多様化など、区内における創業環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきているため、令和 7 年 8 月に提出された「新宿区産業振興会議第 7 期報告書」では、施設のあり方検討の必要性が示された。

このことを受け、区では新たな創業支援施策の検討を進め、同年 12 月の産業振興会議において、区で整理した創業支援施策の将来イメージを提案し、施設を保有せずに多様な創業支援施策を展開していくことの必要性について合意形成された。その後、令和 8 年 5 月の「新宿区産業振興会議第 8 期中間報告」において、創業環境の変化及び創業支援センターと BIZ 新宿とで創業支援機能に重複が生じている状況等を踏まえ、創業支援センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要性が示された。

以上の経緯を踏まえ、区は、創業形態に応じた多様な創業支援施策を効果的・効率的に推進するため、創業支援センターで担ってきた支援機能を BIZ 新宿に一元化するとともに、民間の創業支援施設との連携強化により支援の充実を図ることとし、創業支援センターについては、現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって廃止することとする。

(2) 跡施設活用の方針

創業支援センターは新宿消費生活センター分館との複合施設である。創業支援センター廃止後の跡施設は、現在第二分庁舎3階に所在する消費生活就労支援課(新宿消費生活センター)の執務室等として活用する。

この移転により消費生活センター機能を集約することで、消費生活相談員による消費者講座の拡充実施が可能となるほか、消費生活センター分館を主な活動拠点としている消費者団体と更なる連携を強化し、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化などにつながる。

また、消費生活就労支援課の移転後の第二分庁舎3階の跡スペースは、現在第二分庁舎の1・2階に所在する生活支援課・保護担当課の区民対応・執務スペース等として活用する。区では区民対応・執務スペース等の確保が課題となっているが、生活福祉課・保護担当課においては、来庁による相談件数が増加傾向にあることに加え、令和 5 年 11 月からはひきこもり相談を開始していることなどから、現庁舎の中でも特にスペースがひっ迫しているため、これらの課題解決につなげる。また、生活福祉課・保護担当課では、部署内におけるフロア間の円滑な連携が図られているため、3階のスペース活

用においても、連携体制を維持しながら、区民の利便性向上及び執務環境の改善を図る。

7 創業支援施策の推進について

創業支援センターの廃止(令和 10 年度末)と合わせ、同センターが担ってきた支援機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。

8 今後の対応

以上の内容を高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針を検討した結果として、施設活用検討会に報告する。

通番	意見要旨	対応		区の考え方
1	創業支援センターの廃止は既に決定しているのか。	F	質問に回答する	現時点では方針（案）であり、今後、意見募集等で寄せられた意見を踏まえて方針を決定していきます。
2	現在、パブリック・コメントにはどのような意見が寄せられているのか。また、パブリック・コメントへの回答に当たっては、利用者の思いや支援の成果を踏まえ、丁寧な説明を行ってほしい。	F	質問に回答する	創業支援センターへの感謝や廃止を惜しむ声が多い一方、廃止は理解できるといったご意見も寄せられています。いただいたご意見に対しては、区の考え方を丁寧にお示ししてまいります。
3	「創業支援機能の重複」とは具体的に何を指すのか。	F	質問に回答する	創業支援センターとBIZ新宿の双方で実施している創業相談や創業セミナー、創業スクール、利用者交流会などの創業支援サービスのことを指しています。一方、コワーキングスペースや会議室などのオフィス機能は創業支援センターのみの機能となっています。
4	BIZ新宿への機能の集約によって、どのようなサービスが残り、何が変わるのか。	F	質問に回答する	BIZ新宿への機能集約後も、創業相談、創業セミナー、交流事業などの創業支援サービスは継続するとともに、融資相談についても同一施設で受けていただくことが可能となります。一方、コワーキングスペースや会議室などのオフィス機能については、民間のインキュベーション施設を活用いただくことを想定しています。
5	民間施設で同等のサービスが提供されるとのことだが、利用料金等は把握しているのか。	F	質問に回答する	区内の創業支援施設等について現地確認を行っており、利用料金体系やサービス内容を把握しています。
6	民間施設への移行を想定するのであれば、代替施設の具体的な情報や料金体系を分かりやすく示してほしい。	C	意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご利用可能な民間の施設やサービス内容については、今後、区ホームページ等で情報提供を行っていきます。
7	利用者から見るとサービスが縮小するように感じるが、改善・拡充される点はあるのか。	F	質問に回答する	BIZ新宿では、毎月専門家による様々なセミナーを開催しており、創業支援センターとの一元化後は必要な情報をより入手しやすくなると考えています。また、創業後もBIZ新宿において経営相談や融資相談、専門家派遣等により、安定した経営につなげるための継続的な伴走支援を受けていただくことが可能となります。
8	創業支援センターは立地が良く低廉な利用料でオフィスや会議室を利用できる。会議室は創業初期事業者の商談や打合せの場として利用需要が高く、民間施設の利用料は負担が大きいため、何らかの形で機能を残してほしい。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。創業支援センター開設後、民間のインキュベーション施設が増加し、創業支援センターと同程度の低廉な料金でオフィスや会議室を利用できる施設もあることから、区がオフィス機能を提供することは考えていませんが、ご利用可能な民間の施設やサービス内容については、今後、区ホームページ等で情報提供を行っていきます。
9	コワーキングスペースは単なる作業場所ではなく、創業者同士の交流やコミュニティ形成の場として重要な役割を果たしている。創業者は孤独や不安を抱えていることが多く、利用者同士のつながりや、職員・施設スタッフによる日常的な声掛けが創業継続の大きな支えになっている。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。創業を志す方々の情報交換や交流が重要であるということは、区としても認識しています。現在、民間の施設においても多くの施設で交流事業が実施されています。こうした機能については、区としても今後さらに充実を図っていきたいと考えています。
10	BIZ新宿は区の西側に位置し、地域によっては交通の便が決して良いとは言えないところもある。利用者側の目線で検討する余地があるのではないのか。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。融資相談など、書類の確認が必要なサービスはBIZ新宿まで来所いただいておりますが、利用者の利便性向上を図る観点から、可能な限りオンラインでの対応も推進していきます。今後も利用者にとって利用しやすいサービス提供を進めていきたいと考えています。
11	創業支援センターは、情報提供だけでなく、創業者の背中を押すような、良い意味で「おせっかい」とも言える声掛けや支援が特徴であり、そのような機能を今後も維持してほしい。	D	今後の取組の参考とする	現在、BIZ新宿においても、中小企業診断士が創業相談に加えて、経営相談や融資面談などを行っています。今後も、創業相談から創業後の経営相談まで、事業のステージごとのお悩みに応じて丁寧な伴走支援を行っていきます。

通番	意見要旨	対応		区の考え方
12	BIZ新宿へ集約された場合、利用できる時間帯は基本的に平日日中になるのか。	F	質問に回答する	融資相談など一部の支援サービスは平日日中になりますが、現在、セミナーはオンラインの活用や夜間開催も行っており、イベントによって実施方法や時間帯を工夫しています。 今後も、利用者の利便性を考慮しながら、可能な限り柔軟なサービス提供体制を確保していきます。
13	創業支援センター廃止後も、現在施設で行われている消費生活センター機能は継続されるのか。	F	質問に回答する	分館の施設内で実施している消費者講座や利用者活動等の機能については今後も継続するとともに、消費生活就労支援課の移転に伴い、消費生活相談についても新たな施設で実施します。

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針（案） パブリック・コメントでの意見要旨及び区の考え方

通番	意見要旨	対応	区の考え方
1	創業準備期から創業後まで交流会や利用者同士のつながりを通して多くの学びや支援を得られ、新宿区の創業支援センターに安心感と親しみを感じていたため、廃止方針を残念に思う。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。
2	高田馬場創業支援センターとBIZ新宿では、創業相談やセミナー等の機能に一部重複がある一方、シェアオフィスや登記利用などの拠点機能は異なるため、拠点機能まで廃止することの妥当性について十分な説明を求める。	A 意見の趣旨を活用方針に反映する	ご意見の趣旨を活用方針に反映します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開業後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適切に対応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことであると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 本方針（案）では、「施設機能」の方向性についての説明が十分ではなかったことから、ご意見を踏まえ活用方針に反映します。
3	高田馬場創業支援センターは創業者の区内定着に寄与してきた仕組みであり、施設廃止による影響を検証するため、センター利用者のうち新宿区内で開業した件数・割合、利用終了後も区内で事業を継続している事業者数、一元化後も区内創業者数が維持・向上すると判断した根拠の公表を求める。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業生全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。 また、区内の民間インキュベーション施設は増加しており、区としては民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていくことで創業環境の充実が図られ、創業の促進につながるものと考えています。 今後も、創業者の育成プログラムやセミナー、相談支援、コミュニティ形成等を推進し、区内における創業の促進と定着を図っていきます。
4	卒業生との継続的なつながりは、利用者同士や地域事業者との連携、新たな事業機会の創出につながる創業コミュニティとして機能しているため、施設廃止の判断にあたり、こうした無形の効果も評価の対象とすべきである。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業を準備している方が、同じ志を持つ方や、既に事業活動を営んでいる方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、協業など新たな事業を生み出す機会として重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業希望者に加え、既に創業を経験した方なども交えたコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
5	創業支援施策の充実には賛同するが、高田馬場創業支援センター卒業生を含めた利用実態・区内定着状況の調査・公表、一元化後も区内創業者数や事業継続率が維持・向上すると判断した根拠の公表を行ってほしい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業生全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。 また、区内の民間インキュベーション施設は増加しており、区としては民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていくことで創業環境の充実に図られ、創業の促進につながるものと考えています。
6	相談機能はBIZ新宿へ集約しつつ、拠点機能については規模を見直した上で高田馬場に残すなど、全面廃止以外の選択肢も含めて慎重に再検討することを求める。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
7	創業支援センターの廃止自体には賛成するが、跡施設活用については行政機能の分散化につながり、区民にとってわかりにくく、不便になるため反対である。また、跡施設は地域団体が運営する子ども・若者支援や地域福祉活動のための複合施設として活用してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を移転することで、区役所の現庁舎からは離れてしましますが、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費生活相談員による相談対応をはじめ、消費生活講座による啓発の強化など、様々な機能を一体的に提供することができそうです。また、消費者団体との連携強化のほか、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化につなげることもできます。このような機能強化の内容や移転場所については様々な媒体を通じて区民の皆様に広く周知していきます。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につなげることもできます。 こうした状況を総合的に検討し、高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設には消費生活就労支援課を移転することとしています。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
8	創業支援センターは多くの企業を育成し区内定着に貢献してきた有意義な仕組みであるため、廃止ではなくバーチャルオフィスなど新たな形で存続を検討してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
9	センターの廃止は残念だが機能が残ることに安心した。創業期にセンターからの支援を受け、12年も事業が継続し、社員を5名雇用できていることに感謝を伝えたい。	B 意見の趣旨は、活用方針（案）の方向性と同じ	ご意見の趣旨は、活用方針（案）と同じです。 今後、高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能はBIZ新宿で発展的に継承し、事業の成長や地域における雇用の創出につながるよう、創業支援施策を推進していきます。
10	低廉な利用料や専門家・職員による手厚い支援が創業時の事業継続と信用確保に大きく役立ったため、同様の支援を今後も維持するとともに、廃止について改めて検討してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
11	創業支援センターの廃止は時代の流れとしてやむを得ない面もある。高田馬場という立地は学生等の若者の新たな活動拠点として活用できる可能性があると考えるが、跡施設として高田馬場という場所に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を設置する理由を知りたい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設に消費生活就労支援課（新宿消費生活センター）を移転することで、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費者団体との連携強化や、消費者トラブルの未然防止及びエシカル消費の推進等に関する取組の強化につながることであります。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につながることもできます。 こうした状況を総合的に検討し、高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設には消費生活就労支援課を移転することとしています。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
12	創業時に受けたセンター職員の支援や利用者同士の交流が事業成長につながり、卒業後も交流会や相談等を通じて人脈形成や新たなビジネス機会の創出に結び付いていることから、創業支援センターの存在意義は大きいと考える。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業にあたり、専門家からサポートやアドバイスを受けることは、事業の実現性を高め、創業後の安定した事業運営につなげるために必要なことです。また、創業期にある方が、同じ志を持つ方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要であると認識しています。 同センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、創業者への相談支援体制を充実させるとともに、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援することで、創業者等の事業活動を支援していきます。
13	民間の創業支援施設は利用料金が高額で、相談やサポートのサービスを受ける場合、税務、人事、法務など各種専門サービスとの契約が前提となる場合が多いため、必要な支援だけを柔軟に利用できる区の創業支援サービスには大きな価値があり、その特徴を失うのは惜しいと考える。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターの支援機能をBIZ新宿に一元化し、創業支援施策を再構築するにあたっては、創業期に必要な税務、人事、法務等の各種専門的な情報についても、セミナー等を通して提供していくことを検討していきます。 また、BIZ新宿では専門分野のアドバイザーによる経営相談を実施しており、支援機能を一元化することで、創業後もこうした支援へ円滑につなげることが可能となります。これにより、創業準備段階から創業後まで、切れ目のない一貫した支援を提供してまいります。 シェアオフィス等の施設機能について、区内には、多様化する創業支援ニーズにも対応する機能を備えた民間インキュベーション施設が増加しており、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあります。今後は、区が施設を運営するのではなく、民間施設との連携により、総合的な創業支援を進めていきます。
14	BIZ新宿と創業支援センターは立地や雰囲気、役割が異なっており、融資・申請支援に適したBIZ新宿と、気軽に利用しやすい高田馬場創業支援センターが併存することで、より幅広い創業者支援につながると考える。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 BIZ新宿では、経営相談や制度融資のほか、経営サポートセミナーなど、創業後の事業活動を後押しするさまざまな経営支援施策を実施しています。 高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿に一元化することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援を行うことが可能となります。このため、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。
15	創業支援センター廃止後の跡施設を消費生活就労支援課の執務室等として活用する案には反対である。好立地の区有施設は創業支援など将来的な地域発展や税収増加につながる用途に活用すべきであり、それらの予算を減らし、生活福祉課等の予算を上げることは反対である。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、現在新宿消費生活センター分館との複合施設となっています。高田馬場創業支援センター廃止後の跡施設に消費生活就労支援課(新宿消費生活センター)を移転することで、現在二か所ある消費生活センター機能が集約され、消費者団体との連携強化や、消費者トラブルの未然防止及びエンカ消費の推進等に関する取組の強化につなげることができそうです。 また、現在、消費生活就労支援課のある区役所第二分庁舎では、生活福祉課、保護担当課の区民対応スペース等がひっ迫している課題もあるため、消費生活就労支援課が移転後の跡スペースを活用することでこれらの課題解決につなげられると考えており、本方針(案)は生活福祉課等の予算を上げる趣旨のものではありません。
16	創業支援センターの廃止方針に驚いているが、センターの支援によって事業活動が続けられていることに感謝しており、今後も区にとって良い形でセンター施策が発展することを期待している。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実・強化を図ってまいります。
17	利用者の入れ替わりが多く多様な人材と交流できる点や、税理士・司法書士など専門家と知り合いになれたり、権利関係の専門家に気軽に相談できる点は区立施設ならではの強みであり、廃止は残念である。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 創業期にある方が、同じ志を持つ方とつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で大切です。また、創業にあたり、専門家からサポートやアドバイスを受けることは、事業の実現性を高め、創業後の安定した事業運営につなげる上で重要であると認識しています。 高田馬場創業支援センターの支援機能をBIZ新宿に一元化した後においても、BIZ新宿が有する既存の経営相談等の資源を活用し、創業者への相談支援体制を充実させるとともに、創業者や創業希望者のコミュニティ形成を促進し、創業期における交流を支援するなど、創業者等の事業活動を支えていきます。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
18	創業時に低廉な費用で事業拠点や登記住所を確保できたことに加え、経営相談や入居者同士の交流が事業継続の大きな支えとなった。創業期の固定費負担軽減に資する機能は、今後も何らかの形で維持してほしい。	D	今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
19	高田馬場創業支援センターは交通アクセスや周辺環境に優れており、BIZ新宿への統合によって利用者減少が懸念される。個室や防音収録室を増設するなど、廃止ではなく創業支援拠点として強化すべきである。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。BIZ新宿においては、オンラインによる経営相談やセミナー開催などの取組も進めており、同センターで担ってきた支援機能の継承にあたっては、対面でのサービスに加え、オンラインでも可能なサービスの充実を図るなど、事業者の利便性も考慮した体制の構築を進めてまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、個室や防音収録室等を備えた施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
20	創業当初に大変世話になった施設であり、起業家にとって重要な支援環境であることから、廃止ではなく同様または類似の機能を持つ施設として継続してほしい。	E	意見として伺う
21	低廉な利用料金でのオフィス利用や相談対応、利用者同士の交流など創業支援センターの支援は事業立ち上げに大きく寄与した。創業者に寄り添った実践的な支援やコミュニティ形成の場として重要であり、存続を望む。	E	意見として伺う

通 番	意見要旨		対応	区の考え方
22	創業支援センターは実務面だけでなく精神面でも起業家を支える伴走型支援を提供しており、職員による見守りや声掛けは創業期の孤独を支える大きな役割を果たしているため、廃止方針には反対である。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
23	创业者同士の交流やコミュニティ形成は、職員による支援と並ぶ重要な機能であり、民間施設や相談窓口では代替が難しい。起業家の孤立防止や地域経済の活性化につながる無形の価値を評価し、機能の維持・存続を求める。	E	意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
24	低廉な利用料による拠点・登記場所の提供に加え、継続的な相談支援が創業期の事業運営に大きく役立った。創業支援は区内事業者の定着や雇用創出につながる投資として評価し、利用者の区内定着状況を検証・公表してほしい。	F 質問に回答する	ご質問に回答します。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 高田馬場創業支援センターを卒業した方は、令和7年度末までに220名です。卒業時点で、創業（予定含む）が166名（75.4%）、経営改革が17名（7.8%）、創業等の断念が37名（16.8%）となっています。創業166名のうち、新宿区内での創業は114名で、卒業者全体の51.8%、創業全体の68.7%を占めています。 利用終了後も区内で事業を継続しているかについて、区では令和7年11月に、卒業者を対象としたアンケートを実施しました。その結果、回答のあった75名のうち、45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しています。なお、このアンケートの実施結果については、「新宿区産業振興会議第8期中間報告」の中にも掲載し、区ホームページで公表しています。
25	公的機関が運営する創業支援センターは費用面や信頼性の面で意義が大きく、BIZ新宿との機能重複はほとんどないと考えてるので残してほしい、また、BIZ新宿についてもアクセスの良い立地に移転してほしい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターとBIZ新宿では、相談やセミナー等の支援機能に重複が生じていることから、創業支援の充実・強化を図る観点からも、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 新宿区内の民間インキュベーション施設の中には、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備え、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにであると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 なお、BIZ新宿をよりアクセスしやすい立地へ移転する予定はありませんが、対面での支援サービスに加えて、経営相談やセミナーのオンライン開催を引き続き実施するなど、BIZ新宿に来館することなく支援事業を利用できる体制の両方を整えながら、区内で創業を目指す方を支援していきます。
26	高田馬場創業支援センターは、行政が運営していることで信頼して利用することができ、また、創業初期の段階でつながりを持つのは難しい方からも、セミナー講師として教わることができた。高田馬場創業支援センターで得たコネクションや繋がりがあったからこそ、創業から10年近く事業を継続することができたと考えている。何らかの形でオリジナルメンバーの方々を中心とした仕組みと、施設スペースの後続活用を希望する。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターにおけるセミナーやネットワーク等の支援機能については、創業後の事業継続にも一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにであると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
27	創業する人にとってもっとも必要なのは志をともにする仲間である。創業支援センターは唯一無二の存在で、ほかの区にはない貴重なものであるため、効率化のために廃止するのは反対である。創業する多くの人をみすみす逃すことは間違いない。今すぐにでも撤回すべき。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、平成23年の開設以降、令和7年度末までに166名の創業者を創出し、区内産業の活性化に一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
28	創業期に低廉な費用で事業拠点を確保できたことに加え、職員による手厚い支援を受けられ、日常的な声掛けや金融機関の担当者や行政書士を紹介いただけたことも大きな支えとなった。創業支援センターは、新宿区がスタートアップやベンチャー企業の集積地となるために価値ある施策であり、何らかの形で継続してほしい。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、スモールビジネス、スタートアップ、それぞれの事業特性に応じた創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
29	高田馬場創業支援センターの創業融資に関する助言や金融機関の紹介、各種相談対応により、学生時代から円滑に創業することができた。創業した企業は現在大きく成長し、本店を新宿区に置き続けていることから、センターは創業者の育成や区内定着に大きく寄与していると考えられる。 早稲田大学に近い立地を生かした産学連携やスタートアップを生み出す役割を担っており、廃止をするという方針であれば別の形でイノベーションを促進するような施設に作り替えるのはどうか。とても良い立地のため、未来を形作る活用方法を探るべきである。	E	意見として伺う ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、回答のあった75名のうち45名が新宿区内で事業を行っていることを確認しており、区内産業の活性化に一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化、BIZ新宿と支援機能に重複が生じている状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築することが必要と考えています。 再構築にあたっては、オープンイノベーションや協業を促進し、区内事業者の成長につなげていくとともに、区内大学と連携したスタートアップ支援にも取り組み、区内産業の将来を見据えた施策を検討していきます。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
30	高田馬場創業支援センターの廃止・機能一元化については、時代の変化に合わせた施設のあり方の見直しであり、多様化する働き方やオンライン支援の普及、西新宿（BIZ新宿）などへの機能集約・効率化といった背景を踏まえ、非常に合理的であり、賛同する。 一方で、本施設の最大の価値は設備だけでなく、専門スタッフによる迅速かつ親身な相談対応や、創業者同士のつながりを支える人的支援にあったと考える。これまで培われたスタッフの経験、専門性、人的ネットワークをBIZ新宿等へ確実に継承し、行政の信頼性を生かした温かく実効性の高い創業支援を今後も継続してほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化、オンライン環境の整備のほか、BIZ新宿と支援機能に重複が生じている状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築することが必要であると認識しています。 高田馬場創業支援センターが担ってきた相談対応等の支援機能のほか、これまで培ってきた専門的な知見やネットワークについても、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実・強化に向けて検討を進めていきます。
31	創業初期に安価な利用料や夜遅くまで利用できる環境、高田馬場という立地に助けられたため継続を望む。西新宿への移行は、アクセス面と使い勝手の利便性が気になる。 一方で、現行の施設はスモールビジネスを主体にした方がターゲットで、革新的なビジネスを志向する方には不向きで、サポートの仕組みや考えも薄いように感じる。スタートアップのサポート施設かと思うので、革新的ビジネスを育てる仕組みが今後あると嬉しい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。また、同センターは、スモールビジネスを目指す方の利用が多く、スタートアップを志す方に対する支援体制も課題となっています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、スモールビジネス、スタートアップ、それぞれの事業特性に応じた創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 BIZ新宿においては、オンラインによる経営相談やセミナー開催などの取組も進めており、同センターで担ってきた支援機能の継承にあたっては、対面でのサービスに加え、オンラインでも可能なサービスの充実を図るなど、事業者の利便性も考慮した体制の構築を進めてまいります。
32	創業支援センターの廃止は残念だが、民間施設の増加やBIZ新宿との機能重複を踏まえると、限られた行政資源を有効活用するための見直しの考え方は理解できる。施設の廃止によって利用者が「相談場所がなくなった」、「支援を受けにくくなった」と感じることはないよう、廃止後も相談機能や交流機能を確実に引き継ぎ、より利用しやすい実効性のある創業支援へ発展させてほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通 番	意見要旨		対応	区の考え方
33	高田馬場創業支援センターは、落ち着いた環境の中で安心して起業準備に取り組める場であり、必要なときに相談できるスタッフの存在や利用者同士が支え合う雰囲気が大きな支えとなった。施設の利便性や立地の良さに加え、静かに自分のペースで創業準備を進めたい人にとっても貴重な環境であり、実際に起業への第一歩を踏み出すきっかけとなったことから、今後も創業を目指す人を支える場として存続を希望する。(同一意見外2件)		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、相談対応や利用者同士の交流等を通じた創業準備を行う施設として、一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、高田馬場創業支援センター開設後の創業環境の変化や、BIZ新宿と支援機能が重複している状況等を踏まえ、同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたっては、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策を効果的・効率的に推進するとともに、区内の民間インキュベーション施設との連携強化により支援の充実を図り、引き続き創業を目指す方を支えてまいります。
34	高田馬場創業支援センターは、駅から近く低廉な利用料による事業スペースや会議室の提供に加え、融資相談、金融機関との調整、補助金申請支援、定期的な事業相談など、創業者に寄り添ったきめ細かな伴走支援を行う重要な施設である。創業初期に必要な情報や助言を適切なタイミングで得られることは、事業者の不安や孤立感の軽減にもつながっており、単なるオフィス機能では代替できない価値がある。BIZ新宿への機能移転後もこうした支援や利用環境が同水準で維持されることに懸念があるため、創業者の成長を支える拠点として存続を希望する。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。なお、現在、BIZ新宿では、対面での支援サービスに加えて、経営相談やセミナーのオンライン開催も実施しており、今後もBIZ新宿に来館することなく支援事業を利用できる体制の両方を整え、区内で創業を目指す方を支援してまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
35	BIZ新宿と高田馬場創業支援センターでは、創業予定者や区民からの知名度、情報発信力、支援の手厚さの面で差があるように見受けられる。区の方針の方向性には賛同するものの、廃止・再活用の対象が、知名度や情報量、サポートの手厚さ等で劣るBIZ新宿ではないのか、その理由が資料から読み取れない。また、消費者行政機能の強化を目的とするのであれば、BIZ新宿を活用する方法についても検討の余地があると思う。(同一意見外1件)	F	質問に回答する	ご質問に回答します。 BIZ新宿は、経営相談、融資面談、経営サポートセミナー等の支援施策を実施するほか、会議室等の貸出しを行うなど、事業者や創業希望者を対象に、多様な支援を提供する施設であり、高田馬場創業支援センターと同様に区における創業支援の拠点として機能しています。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、様々な経営支援事業を行っているBIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援を行っていくことが可能となるため、高田馬場創業支援センターを廃止し、BIZ新宿に支援機能を一元化することで、創業支援施策の充実を図っていくこととしました。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
36	高田馬場創業支援センターは、創業初期のオフィス確保に関する負担軽減に加え、経験豊富なスタッフへの相談や創業者同士の情報交換を通じて、法務・税務・財務など創業期の課題解決を支える有益な拠点であった。センターの支援により円滑な事業立ち上げと継続が実現できたことから、施設の廃止は残念だが、今後も区内で起業や事業運営を行う人に対する新たな支援施策の充実を望む。	C	意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 一方、BIZ新宿は、経営相談、融資面談、経営サポートセミナーなど、多様な経営支援施策を実施しています。 今後は、同センターが担ってきた支援機能をBIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援体制を構築し、区内で創業を目指す方や区内で創業した方等に対して、事業の立ち上げや成長を後押しできるよう、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネスのほか、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップの創出を図っていくため、事業特性に応じた新たな創業支援施策の実施に向けて検討を進めていきます。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
37	創業初期に高田馬場創業支援センターを利用し、経験豊富な職員へ継続的に相談できたことが事業立ち上げ時の大きな支えとなった。ビズコンフォート新宿を利用できることにする計画のようだが、単なるシェアオフィスの提供だけでは創業者や企業の成長を支えることは難しく、創業者に寄り添う人的支援や伴走支援こそが重要である。高田馬場創業センターをビズコンフォートに変更するのではなく、高田馬場創業センターをさらに拡充する方針を出すべきだと考える。	E	意見として伺います。 本方針（案）では、高田馬場創業支援センターが担ってきた支援機能を発展的に継承していく施設として、民間のシェアオフィスではなく、経営相談、資金繰り支援、セミナー等の支援機能を有する新宿区立産業会館（BIZ新宿）をお示ししています。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承することで、創業準備段階から創業後まで切れ目のない一貫した支援体制を構築し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
38	高田馬場創業支援センターは、低廉な利用料による事業拠点の提供だけでなく、融資や補助金に関する助言、事業課題への継続的な伴走支援、起業家同士の交流機会などを通じて創業者の成長を支える重要な拠点である。創業実績や区内定着、雇用・納税などへの効果は運営コストだけでは測れない価値であり、廃止ありきではなく十分な検証の上で再検討してほしい。 また、BIZ新宿へ機能移転する場合でも、拠点、登記、伴走支援、起業家コミュニティなど、同センターが有する創業支援機能を可能な限り継承することを求める。	E	ご意見として伺います。 区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、高田馬場創業支援センターは、創業者の区内定着、雇用創出、納税を含めた地域経済への貢献等の点で、一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
39	高田馬場創業支援センターは、創業時に設備の整った環境で経験豊富なスタッフによる実務面・精神面の支援を受けながら円滑に会社設立を進められるなど、事業立ち上げに大きく寄与した。交通利便性の高い立地や周辺環境の充実、利用者同士やスタッフとの密な情報交換ができる適度な規模感も大きな魅力である。BIZ新宿への機能集約により、こうした利点が失われることを懸念しており、施設の廃止を残念に思う。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
40	高田馬場創業支援センターは、創業時に補助金や融資、地域特性に関する情報提供、申請支援などの実践的なサポートを受けられる貴重な拠点であり、事業の円滑な立ち上げに大きく寄与した。センター長や職員による継続的な支援や地域とのつながりづくりは、创业者にとって大きな支えとなっている。施設としての役割は形を変えるが、学生や外国人が多い街として創業が身近にあるという強みは引き続き活かしていただきたい。	D 今後の取組の参考とする	ご意見は、今後の取組の参考とします。 高田馬場創業支援センターは、地域の特性を活かしつつ、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適應する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しています。高田馬場や近隣地域にもインキュベーション施設があることから、地域性を活かした取組も実施するなど、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨		対応	区の考え方
41	高田馬場創業支援センターは、創業期における事業計画や資金調達、経営課題等に関する専門的な助言に加え、創業者同士の交流や継続的な相談支援を受けられる貴重な拠点であり、事業基盤の構築や長期的な事業継続に大きく寄与している。交通の利便性も高く、創業者を支える環境として重要な役割を果たしている。また、創業支援の成果は雇用や納税、地域経済への波及効果など中長期的な視点で評価すべきである。こうしたことから、廃止ありきではなく、運営方法の見直しや複合利用も含めて機能の継続を再検討してほしい。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、シェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。また、区が令和7年11月に卒業生を対象に実施したアンケート調査の結果から、雇用創出や納税を含めた地域経済への貢献等も果たしてきたと把握しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
42	高田馬場創業支援センターは、創業初期の事務所経費の負担軽減に加え、同じ立場の創業者との交流や情報交換ができる貴重な拠点であり、施設の廃止は、今後新宿区で創業を目指す事業者にとって大きな損失となるため、廃止が確定していないのであれば、創業支援機能を維持した形で継続運営を希望する。		E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
43	高田馬場創業支援センターは、創業期の事業立ち上げを支えてくれた重要な拠点であり、今日があるのも専門スタッフによる的確な助言や継続的な支援のおかげである。高田馬場駅前という利便性の高い立地は、新宿区での創業を身近なものとし、創業への後押しとなってきた。BIZ新宿への機能の統合により新宿区での創業そのものが完全に行政支配下に置かれてしまうことを懸念しており、今後創業を目指す人のためにも高田馬場創業支援センターの継続を希望する。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、指定管理者の創意工夫による運営のもと、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、创业者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
44	高田馬場創業支援センターには、大変お世話になり、廃止されてしまうのは、本当に困る。存続の再検討をお願いしたい。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、创业者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

通番	意見要旨	対応	区の考え方
45	高田馬場創業支援センターは、創業期の企業に対して低廉な事業拠点を提供するとともに、経営や資金調達に関する相談支援、入居企業同士の交流機会の創出など、多面的な創業支援を行う重要な施設である。固定費の抑制や実務的な助言、起業家コミュニティの形成は創業初期の事業者にとって大きな価値があり、機能集約の趣旨は理解するものの、施設の廃止・統合に当たっては、これらの支援の質や利用しやすさが維持・向上されるよう十分に検討してほしい。	C 意見の趣旨に沿って活用方針を推進する	ご意見を踏まえて活用方針を推進します。 平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。
46	高田馬場創業支援センターからは、定款作成、登記、都市銀行の口座設定、決算、税務申告、補助金申請等、様々なサポートを受けた。金融機関への融資手続にあたっては、交渉と金利優遇面での側面支援はありがたい。 8月17日の説明会では、区内の民間インキュベーション施設において、会議室利用料金は、月数時間までは無料にしている施設もあるとの説明だったが、その拠点の基本料金/月や、同様民間サービスの複数拠点における平均的な利用条件との比較が必要と思われる。また、パブリック・コメントにおいては、存続と廃止の意見の割合も重要と考える。 施設の価値は低廉な利用料金だけでなく、長年蓄積された創業支援のノウハウや、職員との継続的な対面コミュニケーションによる伴走支援等のソフト面にある。ハード面の縮小は仕方ないとしても、ソフト面のリセットに繋がる廃止はせず、リアルな相互コミュニケーションを介して起業家達がソフト面の利便性を享受し続けられるよう願う。	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様ななど、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在し、同センターの利用料と同程度の低廉な料金で利用できる施設もあることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。 民間インキュベーション施設との連携にあたっては、各施設の設備や支援内容、利用料金等は様々であることから、創業者に対して、ホームページ等により丁寧に情報発信を進めてまいります。また、BIZ新宿においても、会議室の貸出しを行っていることから、併せて周知してまいります。

通 番	意見要旨	対応	区の考え方
47	高田馬場創業支援センターは、創業者が安心して事業に取り組める環境に加え、利用者同士の情報交換や交流を通じて創業者コミュニティを形成する重要な役割を果たしている。特に高田馬場駅近くという交通利便性や、生活・事業に必要な機能がコンパクトに集積した地域環境、低廉な利用料金は、創業前後の小規模事業者にとって大きな支援となっている。また、現在の施設規模は利用者同士が自然に交流しやすく、創業者が互いに学び合いながら成長できる環境を生み出している。 施設の老朽化は理解するものの、大規模施設への一元化が必ずしも創業支援の質の向上につながるとは限らないため、高田馬場の立地特性やコミュニティ機能、創業者にとっての使いやすさを踏まえ、廃止及びBIZ新宿への機能集約については存続も含めて再検討してほしい。(同一意見外1件)	E 意見として伺う	ご意見として伺います。 高田馬場創業支援センターは、低廉なシェアオフィス等の提供のほか、相談対応や利用者同士の交流等を通じて、創業者の事業立ち上げを後押しする創業支援施設として一定の役割を果たしてきたと認識しています。 しかしながら、平成23年の高田馬場創業支援センターの開設後、区内民間インキュベーション施設の増加や創業形態の多様化など、創業を取り巻く環境が変化し、区に求められる創業支援の役割、ニーズが変容してきたこと等を踏まえ、BIZ新宿と支援機能が重複している同センターを廃止し、創業支援施策を再構築する必要があると認識しています。 再構築にあたり、相談や交流など、同センターが担ってきた支援機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、創業支援施策の充実を図ってまいります。 また、シェアオフィス等の施設機能については、多様化する創業支援ニーズに適応する機能を備えた民間インキュベーション施設が区内に多数存在していることから、施設機能へのニーズには、これらの民間施設のご利用で対応できるものと捉えています。 創業期にある方が、同じ志を持つ方などつながりを持つことは、創業に関する情報や知識を交換するとともに、事業に関する悩みや課題を共有・解決する上で重要なことから、今後、区の役割としては、インキュベーション施設との連携を図りながら、創業者や創業希望者のコミュニティ形成や交流促進等に重点的に取り組むことにあると認識しており、創業希望者への支援の充実を図ってまいります。

高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針(案)からの変更点

変更理由	方針(変更後)	方針(案)
パブリック・コメント 通番 2 「高田馬場創業支援センターと BIZ 新宿では、創業相談やセミナー等の機能に一部重複がある一方、シェアオフィスや登記利用などの拠点機能は異なる」との意見を踏まえ修正	高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針 ●高田馬場創業支援センターの廃止 —略— 以上の経緯を踏まえ、区は、創業形態に応じた多様な創業支援施策を効果的・効率的に推進するため、創業支援センターで担ってきた<u>支援機能を BIZ 新宿に一元化するとともに、民間の創業支援施設との連携強化により支援の充実を図ることとし、創業支援センターについては、現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって廃止することとする。</u> ●跡施設活用の方針 —略— 創業支援施策の推進について 創業支援センターの廃止(令和 10 年度末)と合わせ、同センターが担ってきた<u>支援機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。</u>	高田馬場創業支援センターの廃止及び跡施設活用の方針 ●高田馬場創業支援センターの廃止 —略— 以上の経緯を踏まえ、区は、創業形態に応じた多様な創業支援施策を効果的・効率的に推進するため、創業支援センターで担ってきた<u>施策や機能を BIZ 新宿に一元化し、創業支援センターについては、現在の指定管理者の指定管理期間の終了に合わせ、令和 10 年度末をもって廃止することとする。</u> ●跡施設活用の方針 —略— 創業支援施策の推進について 創業支援センターの廃止(令和 10 年度末)と合わせ、同センターが担ってきた機能を BIZ 新宿で発展的に継承するとともに、従来からのビジネスモデルであるスモールビジネス、新しい技術やビジネスモデルを活用したスタートアップなど、それぞれの事業特性に応じた新たな創業支援施策を実施するための検討を進めていく。